

平成 23 年 10 月 21 日

各 位

会 社 名 日本郵船株式会社
代表者名 代表取締役社長 工藤 泰三
コード番号 9101
上場取引所 東証・大証・名証各第一部
問合せ先 I R グループ長 遠藤 剛
(TEL. 03-3284-5986)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成 23 年 7 月 29 日に公表しました平成 24 年 3 月期第 2 四半期累計連結業績予想を下記の通り修正しましたので、お知らせいたします。

記

平成 24 年 3 月期第 2 四半期累計連結業績予想数値の修正（平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	935,000	△6,000	△9,000	△5,000	△2.95
今回発表業績見通し(B)	910,000	△10,000	△15,000	△12,000	△7.07
増減額 (B-A)	△25,000	△4,000	△6,000	△7,000	
増減率(%)	△2.7%	—	—	—	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 23 年 3 月期第 2 四半期)	1,010,557	86,225	79,869	44,374	26.14

修正の理由

定期船事業では、第 2 四半期は北米・欧州航路共に夏場に一定の積高の増加がありましたが、大型新造船の竣工により需給関係の改善が進まず、運賃水準が予想を下回りました。不定期専用船事業では、自動車船の自動車輸送台数は想定通りだったものの、タンカー市況が低迷し、ドライバルク部門も第 2 四半期前半までの市況低迷の影響を受けました。また、第 2 四半期は円高が予想を上回る水準で推移しました。これらの要因から、平成 24 年 3 月期第 2 四半期累計連結売上高、営業利益、経常利益は予想を下回る見込みです。更に、一部船舶の処分に伴う損失が発生したため、四半期純利益も予想を下回る見通しです。

(注)

上記の業績予想は、当社が現時点において合理的と判断するデータに基づいて作成しており、来る 10 月 31 日に通期業績予想とともに公表予定の業績とは異なる可能性があります。

以 上